

2-6		主題	恐怖の食事介助 ～やめる勇気、止める勇気～	
食事介助		副題	介護からのアプローチ 「食」アセスメントを作ろう！	
意識改革				
研究期間	12ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム フジホーム	
発表者：村山 恵美			アドバイザー：日本歯科大学医師の方々	
共同研究者：山下 章子 山崎 晴子				
電話	042-541-5985	メール	Fujihome-sc@douen.jp	
FAX	042-541-5468	URL	http://fujihome.or.jp/	

今回発表の事業所やサービスの紹介	所在地は昭島市中神町の昭和郷内に位置し、地域の拠点施設として、特別養護老人ホームを運営するとともに、在宅での介護を支援するためにデイサービス2事業、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを開設している。特養は、利用者100名・ショートステイ6名を定員としており、3フロアに分かれて日々の生活のケアが行われている。
------------------	---

《研究前の状況と課題》 決められた職員数の中、当たり前のように大勢の利用者を見守り、食事介助しているのが介護の現場である。さらに利用者の重度化により、摂食・嚥下困難者は日々増加している為、利用者の体調変化によってはその食事形態に迷うこともあり、更に食事環境も職員間で統一した介助がなされていないのが現状であった。その為、職員間での食事環境に対する意識を再確認する必要性があった。これまでは、新規、退院者の情報は専門職である、医療、管理栄養士からのアセスメントを介護職が受け取り、その情報をもとに利用者の個別ケアを計っていた。しかし一人ひとりケアの方法も違えば、ADLの変化もあり、マニュアルに沿った介護とはいかないのが現状である。そこで今回の取り組みを通じて、独自の食事ケアアセスメントを作成し、機能維持向上を図るとともに、各セッションと連携を計りながら利用者の食事状況把握、改善へ繋げていく。	《研究の目標と期待する成果》 まずは、安心・安全な食事環境を作るため食のアセスメントを作成する事を基準においた。 これにより介助方法の標準が生まれ、各職種との連絡調整や介護のレベルアップにつながる。 職員がレベルアップする事で利用者の食事環境の改善向上ができる。 歯科医師と口腔ケアの教授にも協力をえることにより、月2回の口腔ケアから、利用者の嚥下状態の維持改善策の具体的な提案を期待し、個別の機能評価が出来る。 食事ケアの統一化を図る。 上記の成果を目指して、研究に取り組んだ。
---	---

《具体的な取り組みの内容》

- 1、研究職員がまず口腔機能の実態を知るため、外部研修に参加。約6ヵ月にわたり、歯科医師会研修・摂食嚥下研修会・他施設の見学に参加。
- 2、月2回の口腔ケア実施中、医師の助言のもと利用者の嚥下状態の情報共有と確認を行う。また、嚥下の症状を見ることがで個々のADLの認識を持てるようにする。
- 3、口腔ケアを通じ、摂食・嚥下について施設内研修を開催。
 - ① 4/21 口腔ケアの観点から見る食事に関する研修会。
 - ② 5/10 内視鏡検査の研修会。
- 4、食事・内視鏡に関するアンケートの実施（研修会参加職員を対象）
- 5、栄養士から食事情報の共有。
管理栄養士の視点から、医務を含めた利用者の食事形態の再確認（食事の変更）。
- 6、アセスメントの作成
上記のことを踏まえて、各セクションとの連携のもと意見交換を交わしながら、独自のアセスメントを作成中。

《取り組みの結果と評価》

実際に取り組んでみて、良かった点は摂食・嚥下機能や食物残渣の危険性、口腔ケアの重要性を再認識でき、食事介助時の不安や疑問を少なからず解消することにもつながった。

また、研究職員が外部研修に参加して内視鏡検査の存在を知り、施設内研修に導入することにより、介護職員の意識が向上したが、他部署との今以上の連携が、課題であると感じた。

《まとめ》

日々、当たり前利用者の食事介助をしているが、今回取り組んだ課題を吸い上げた事により、食事に対する気づきや考え方の変化に繋がった。

この研究を通して、職員間での情報を共有出来るようになれば、不安や恐怖も減り、職員のメンタル面の負担も少なくなるように感じた。

《参考文献》

「在宅歯科医療研修会」
「摂食・嚥下機能支援研修会」
「日本歯科大学摂食・嚥下研修会
第三回・第四回」
「平穏死のすすめ」 石飛 幸三著

《提案と発信》

現在の特養は、鼻腔経管・胃瘻経管になった方への定員は限られた状況にある。今後、このような方が増えていく現実を踏まえ、摂食困難な利用者も増加傾向にある。今回の研究を通して、そのような方々に対し介護側から安心・安全な食事環境をどのようにアプローチしていくのかが、今後の課題と感じています。

【メモ欄】